

**答** ①中心市街地の各種施設へ気軽に移動でき、環境にやさしい交通手段であることを十分に周知することが重要と考えている。②福山市生活バス交通利用促進計画推進委員会の意見とともに、利用促進の検討に生かしていきたい。



利用促進が望まれる「まわローズ」

**太陽光発電システムの普及 (水曜会)**

**問** 2000年から住宅用太陽光発電システムを設置する人に対して補助を行っているが、この制度を利用した設置状況は。また、モデル地区認定については、近接した5戸以上の住宅がまとまるのが条件で、大変難しい状況と聞かが考えは。

**答** 2000年からの累計で、補助件数1497件、補助金総額約1億1500万円である。モデル地区の認定状況については、今までに数件の照会があったが、申請には至っていない。今後、申請状況なども踏まえ、無利子融資制度の活用や、幅広い啓発活動と事業者などへの働き掛けを行い、太陽光発電システムの普及に努めていく。

◇関連質問  
 ※メガソーラーなど太陽光発電について (公明党)  
 ・設置費補助の現状と学校・公共施設への整備方針 (市民連合)

**踏切などの安全対策 (市民連合)**

**問** 御幸町のJR小境踏切で耳の不自由な女性が犠牲となり、以前にも耳の不自由な男性が犠牲となっている。その原因は遮断機や警報機がなかったことが挙げられている。にもかかわらず、JR当局は、遮断機・警報機の設置に消極的では

ないのか。JR当局に対し、市として早急に対策を求めるべきでは。

**答** 小境踏切は、現地で自治会関係機関と対策を検討し、遮断機・警報機の設置をJR当局に要望した。なお、緊急措置として、ゼブラ、自発光式視線誘導標識などの安全対策を実施する。残る15カ所の踏切も関係者と連携し、踏切事故防止対策に取り組む。



安全確認を呼び掛けるのぼりが立つ踏切(御幸町小境踏切)

**カーボン・オフセットの方向性は (公明党)**

**問** 本年のばら祭では「カーボン・オフセット」の取り組みをされ、その結果が広報小さくや

まに分かりやすく掲載された。今後、この取り組みはリサイクルフェスタなどの機会を活用することのことだが、この事業を展開する上での方向性は。

**答** 本市では、イベントなどを活用し、温暖化対策に係るさまざまな啓発を行っている。今後は、自らの生活の中で温室効果ガスの排出量を実感できるように、また、温暖化は他人事ではなく、自分のこととしてとらえてもらえる取り組みを推進していく。「カーボン・オフセット」の取り組み内容などについても幅広く情報提供を行い、市民や事業者の意識の醸成を図っていく。

**神辺地区まちづくり事業の進捗状況 (明政会)**

**問** 地域の団体の協力を得る中で事業計画決定に向けて進められているが、進捗状況は。また、推進する会が全地権者に事業の賛否を尋ねたアンケート結果をどう受け止めているか。さらに、本年度中の事業計画決定への取り組みは。

※メガソーラー：「メガ」は「100万の」、「ソーラー」は「太陽」という意味。100万ワット規模の大規模な太陽光発電のこと。  
 ※カーボン・オフセット：二酸化炭素(カーボン)を、木を育てたりすることなどで、埋め合わせ(オフセット)する取り組み。